

テーマ「理想的なグループ編成は、どうあるべきか」 ～“好きな人同士”のグループ編成から考える～

〔事例14:「感受性を高める指導」に関連した取組事例〕

1 目 的

学校生活において、グループ編成はいろいろな場面で行われる。その際、自分の好きな人同士とのグループ編成を望む生徒は少なくない。しかし、このことは自己中心的な考えであり、相手の立場に立って物事が考えられていないことが多い。また、ソーシャルスキル（対人関係を営む知識や技術）を育成していくうえでもマイナスになることがある。

そこで、簡単なシミュレーションを見て意見交換することで理想的なグループ編成についての考えを深めさせ、周囲に対する配慮や社会性について考えることのできる能力（感受性）を高める。

2 対 象 中学校

3 所要時間・教科等

1時間／特別活動（学校行事等におけるグループ編成の事前指導として）

4 事前指導

- (1) 運営委員会で議題の検討（司会進行など役割分担）
- (2) 好きな人同士のグループ編成の賛否とその理由を問うアンケートの実施
- (3) アンケート結果を基にしたシミュレーションの台本（例P.12）の作成と練習

5 授業の流れ

進行・内容	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
1 問題提起 提案理由の説明と議題の提示 好きな人同士のグループ編成をどう考えるか →ワークシート(問題提起)P12	○ 生徒が司会進行を行う。
2 ディレンマゲーム 賛成である 反対である どちらとも言えない 黒板上に「賛成」、「反対」、「どちらとも言えない」の場所にカードを貼り、意思表示をする。	○ これまでの経験と身近な生活場面を思い出しながら考えさせる。 ○ カードは磁石付きで、意見を聞きながら自由に移動できるよう工夫し、支援する。

司会者は、両方の立場の意見を発表させ、意見を引き出す。 3 シミュレーション シミュレーション(1)を見る。→シナリオ例P12 ○ 問題点を発表する。 シミュレーション(2)を見る。→シナリオ例P12 ○ 問題点を発表する。 ○ 演じた者の感想を発表する。 4 ディスカッション 理想的なグループ編成とは、どのような決め方をすればよいのでしょうか。 5 まとめ（振り返り） 指導者が、助言を行う。	○ 反対の立場にいる人を説得するつもりで意見を述べさせる。 ◎ シミュレーションを見ながら、問題点が理解できているか。 ○ 演じた者の感想も入れながら、問題点を明らかにする。 ◎ 問題点に関して、積極的に意見交換ができていますか。 ○ 答えをはっきりさせるのではなく、ディスカッションで出た意見を生かして、考えるべき方向性を明らかにする。
---	---

6 事後指導

- (1) 感想を記入、運営委員会による評価
- (2) 学年集会・全校集会等での報告会
- (3) 学校行事における班編成の事前指導

7 留意点

- 生徒が主体となって展開されるよう、運営委員の準備や指導には時間をかけたい。特にシミュレーションについては、アンケートでの回答等をセリフに引用するなど自分たちの問題として捉えさせ、見る側が十分に感じ取れるシナリオや演技指導が必要となる。
- また、学習の初期の段階に、あからさまに一つの方向へ導こうとすることは望ましくない。賛成・反対の意見を出させることで、感受性を深めていけるとよい。
- 磁石を貼る位置や色を変えたり、自由に動ける配置にするなどの工夫も行いたい。
- 事後指導では、ソーシャルスキルトレーニングを行ったり、学級から全校への啓発活動を行ったりするなど、より人とのかかわり方を意識させ、実践化・行動化に繋げていく。

8 参考資料

ワークシート (問題提起)

わたしたちが学校で活動するとき、グループになることが多いと思います。今までにも、たくさんの経験があると思いますが、理想的なグループの決め方は、どのようなものがよいのでしょうか。今日は、このことについてみんなで考えたいと思います。

ある学級で、次のような意見がでてきました。

学級委員 今日、生活班を決めようと思います。どのように決めようか……。

生徒 はい、好きな人同士がいいと思います。気が合うからまとまりのある生活班になると思います。

生徒 はい、私も今の意見に賛成です。好きな人同士だと何でも思ったことが言えるのでいいと思います。

生徒 賛成です。話が盛り上がるので、学校が楽しくなると思います。

生徒 賛成。賛成。(多数手を挙げる)

生徒 はい、私は好きな人同士はどうか……と思います。仲のいい人同士の班だと授業中、うるさくなりそうだからです。

生徒 私も同じ意見で、一人になってしまう人ができそうだし、それに、何かうまくいえないけど、クラス全体のことを考えたらもっと考えなければいけない気がします……。

(しばらく沈黙)

生徒 はい、うるさくならないようにするために、班長になった人に責任をもってもらって、一人になる人を作らない……という約束で好きな人同士の班編制でいいと思います。

生徒 賛成です。

生徒 賛成、賛成。

学級委員 困ったな……。

みなさんは、どうですか。好きな人同士で班をつくることに賛成ですか？それとも反対ですか？

シミュレーション(1) シナリオ例

学級委員 では、好きな人同士の班編制をすることにします。全員起立をして好きな人同士で、集まってください。

生徒A さやか、一緒になろう。

生徒B うん。一緒になろう。楽しくなりそうだね。

生徒C 美希、こっち来て。

生徒D いいよ。美希と一緒によかった。

(生徒Eだけが一人残る)

生徒A (小さな声で) 優香が残ってるよ。さやか、どうする？

生徒B あまり話したことないし……。

(生徒C Dもコソコソ話した後)

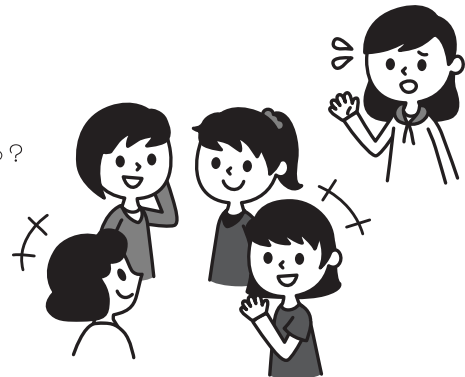
生徒C 優香、こっちにおいでよ。

生徒D 私たちの班に入れてあげるよ。私たちの班はいや？

生徒E ううん、違う。ありがとう。

生徒C 私たちって優しいでしょ。

(盛り上がっているが、生徒Eは話の輪に入れない)



シミュレーション(2) シナリオ例

学級委員 では班で集まって、このことについて話し合ってください。

(仲良しグループごとで集まって話をしている)

生徒A ねえ、あのグループ、雰囲気暗くない？

生徒B 私もそう思う。いつもぼそぼそ小さい声で話していて、何しゃべっているのか分からない。

生徒C 苦手だな、あのグループ。そうそう、私、あめ持ってきたんだ。

生徒A えーっ。学校にお菓子を持ってきたらだめじゃない。

生徒C 硬いこと言わずに、私たちだけのヒミツということで……。

生徒A いいかっ。こういう時、仲のいい人同士の班っていいよね。

生徒B C うん、うん。

(話しているグループを見て)

生徒D ねえ、あのグループ、うるさいよね。

生徒E そうそう。急に大きい声で笑い出すから、私のこと笑っているんじゃないかと、すごく気になる。

生徒D 人のうわさ話もよくしているし……いやな感じ。

生徒E 私たち、やっぱり気が合うから、話していても楽しいし、楽！

(グループ同士が陰湿なムードになっている)